



市議会12月定例会

市長説明

市議会12月定例会が、市役所本庁舎議場で11月29日から12月20日までの22日間の会期で開催されました。初日に行われた市長説明の概要をお知らせします。

問合せ 総務課 ☎ 89・21113

◎新型コロナウイルス感染症の対応

9月以降、全国的に新規感染者数が減少しましたが、その後、再び感染が拡大しています。本市では、医療機関でクラスターが発生し診療を一時制限したほか、学校や保育所等でも休校や学級閉鎖等の対応をとるなど、市民生活への影響が出ており、今後、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されます。市民の皆様には、人と人との距離の確保や状況に応じたマスクの着用、手洗いなど、基本的な感染防止対策の徹底を改めてお願いします。

新型コロナウイルスの接種については、現在、1、2回目の接種を終了した12歳以上のすべての方を対象として、オミクロン株対応ワクチンを用いた追加接種を行っており、11月22日現在、9418人、21・5%の方が接種を終えています。

新型コロナウイルス感染症は、これまで年末年始に流行していることや、特例臨時接種の期限が令和5年3月31

日であることなどから、速やかな接種を呼び掛けるとともに、今後も、能代市山本郡医師会、関係機関などと連携をとりながら、ワクチン接種が円滑に進むよう、状況に応じて適宜対応していきます。

◎第2次能代市総合計画後期基本計画

11月18日に議員の皆様から第1次素案をお示しし、ご意見をいただきました。また、28日には総合計画市民協議会から提言書が提出されています。今後、これらを踏まえて、第2次素案を取りまとめ、改めて議員の皆様にお示しするとともに、パブリックコメントを実施して市民の皆様からもご意見をいただいたうえで、年度内に策定することとしています。

◎第2次能代市空家等対策計画の策定

平成30年度から5年間の計画期間とする能代市空家等対策計画に基づき、市内の空家の把握や管理不全の空家などへの対応に努めてまいりましたが、空家の件数は年々増加し、苦情や相談

なども増え続けていることから、5年からの新たな計画を策定したいと考えています。

これまでの取り組みに加え、空家の除却に関する相談や支援の拡充などについても先進事例を参考に検討を進めており、空家等対策協議会や議会などのご意見もお伺いしながら、年度内の策定を目指していきます。

◎能代市デジタル・トランスフォーメーション推進計画

能代市デジタル・トランスフォーメーション推進計画検討委員会のご意見や専門家の助言をいただきながら検討を進め、11月4日に素案を取りまとめしています。

今後、議会のご意見をお伺いしたうえで、パブリックコメントを実施し、年度内に策定したいと考えています。

◎キャッシュレス決済の導入

来年1月から、本庁舎および二ツ井町庁舎の窓口で発行する住民票の写しなどの各種証明書の交付手数料につ

いて、クレジットカードや電子マネー、QRコード決済に対応したキャッシュレス決済を導入することとし、準備を進めています。

これにより、市民の利便性の向上や取納業務の効率化が図られるほか、非接触による新型コロナウイルス感染症予防にもつながると考えています。

◎市主催敬老会の見直し

以前から、参加者、参加率とも年々減少傾向にあり、元年度の参加率は8・3%と対象者数の1割にも満たない状況であったことから、今年度、各単位老人クラブ会長、自治会連合協議会理事、民生児童委員協議会地区会長の方々などに、アンケート調査を行ったところ、63・7%の方が、地区主催が望ましいという結果でした。現に、地区主催の敬老会への参加率が高いことから、地域共生社会の実現の一助にもなり得ると判断し、5年度から市主催の敬老会を廃止し、地区主催の敬老会に移行してまいりたいと考えています。

◎環境基本計画などの中間見直し

第2次能代市環境基本計画および第2次能代市一般廃棄物処理基本計画は、平成30年度から10年間を計画期間として取り組んでいます。

今年度、両計画が中間年を迎え見直しをするため、市民アンケートを実施し、市民団体などからなる「環境のまちづくり市民懇談会」を開催して、指標目標などについて検討を重ね、11月18日には、提言書をいただいたところでありました。

今後、素案を取りまとめ、議会のご意見をお伺いするとともに、パブリックコメントを実施し、能代市環境審議会への諮問・答申を経て、年度内に取りまとめていきます。

◎能代港湾区域内の洋上風力発電

事業

「秋田洋上風力発電株式会社」によりますと、国内で初となる本格的な洋上風力発電事業の商用運転が、12月中旬にも開始される予定とのことでありました。

能代港湾区域内での出力4200Kwの洋上風力発電設備20基の商用運転開始に向けた準備が進められています。こうした中、日本初の洋上風力発電設備を一目見ようと、風車タワーの据付工事が開始された7月以降、本市で対応した分だけでも約230名が視察に訪れています。



今後も視察による来訪は継続するものと思われ、建設・メンテナンスにとどまらず、視察に訪れる方々の宿泊や飲食、交通、小売分野など地域へのさまざまな経済波及効果があるものと考えています。

◎全国洋上風力発電市町村連絡協議会

11月8日、能代港湾区域内の洋上風力発電設備や、洋上風力発電の拠点港として整備が進められている能代港などの視察研修を行い、本市を含め、16自治体約40名が参加しました。

今後、洋上風力発電などに関連する先端技術や先行事例を学びながら、会員市町が一体となって事業の円滑な普及を図り、持続可能な循環型社会の構築に寄与できるよう努めていきます。

◎能代港「はまなす画廊」

秋田県建設部能代港湾事務所から、能代港大森ふ頭用地造成工事の進捗に伴い、はまなす画廊の一部を撤去し、

フェンスを設置する計画である旨の報告がありました。

具体的には、来夏以降、はまなす画廊の北側約4分の1の護岸を撤去後、フェンスを設置する方向で検討しており、今後、国土交通省と協議していくとのことでありました。

市といたしましては、岸壁を市民などに開放していただいている県、並びに壁画作者の皆様に感謝するとともに、今後の港湾整備計画を見据え、壁画を画像データとして保存するなど、対応を検討していきます。

◎能代市教育等の振興に関する施策の大綱

現行の大綱が令和4年度で終了するため、5年度から5年間を実施期間とした、本市の教育などの総合的な施策に関する方向性を定める新たな大綱を、今年度中に策定することとしています。

策定に当たっては、国や県の教育振興基本計画、市の総合計画などを踏まえて素案を作成し、今後、市総合教育会議において教育委員会と協議のうえ、議会や市民の皆様のご意見をお伺いしながら進めていきます。

4年度12月補正予算

単位：千円

	現計予算	補正額	補正後予算
一般会計	33,217,000	751,900	33,968,900
特別会計			
簡易水道事業	51,183	264	51,447
浄化槽整備事業	221,438	526	221,964
介護保険	8,168,400	35	8,168,435
企業会計			
水道事業	1,961,666	△12,798	1,948,868
下水道事業	3,589,318	25,941	3,615,259

一般会計12月補正予算の主な歳出

単位：千円

庁舎管理費	10,121
障害福祉サービス等給付費	60,000
障害児通所給付費等事業費	17,000
●障害者支援施設等物価高騰対策事業費	2,808
●介護保険施設等物価高騰対策事業費	19,142
●保育所等物価高騰対策事業費	9,937
子ども・子育て支援事業費（施設型給付費・委託費）	20,545
生活保護費	67,000
県営ほ場整備事業費	5,001
令和4年8月大雨被害による農地及び農業用施設災害復旧事業費補助金	5,940
能代工業団地拡張事業費（工業団地東側）	149,285
小学校管理費	15,630
中学校管理費	7,828
学校給食管理費	19,433
林道災害復旧事業費	21,022

（●は新規事業）